

# みはら情景 わたしの思い出

## はだか祭

### 福を呼び込む奪い合い



昭和51年、雪が降る中  
行われたはだか祭



現在は、参加者も増え、伝統行事として継承されている



大町 稔さん  
(久井町江木)

「川で身体を清めた後、サラシが凍ってしまうほど寒かった年もありました」

**御福開祭はだか祭**  
とき 18日(土) 19時(福木の投下は21時)  
ところ 久井稲生神社(久井町江木)

毎年2月、久井稲生神社では、はだか祭が開催されます。サラシを巻いたはだか衆が、福木を手にするために、熱くぶつかり合います。「不思議ですね。取るのと思つたら取れない、自然に手に入るものなのです」と語るのは、3度福木を取った経験のある大町稔さん。現在は81歳になります。福木をにぎつたらとにかく逃げなければなりません。大町さんは、追いかけてくる男たちを振り切って、裏山に逃げたこともあり、神社の階段は、7つとぼしに下りないといつかまってしまうといいますが。

2月といえば、1年のうち最も寒い頃です。しかし、福木の奪い合いがはじまってしまえば、寒さも忘れず。肌と肌が擦れないように、バケツで水がかかけられますが、それもすぐに湯気となるほどの熱気です。

大正8年に始まって以来、やり方はほとんど変わらないはだか祭ですが、参加者は増えました。近年は、外国人も参加しています。「いろいろな人に参加してもらって、祭りをもっと盛り上げ、地域の行事として、いつまでも継承していきたい」と語る、大町さん。現在でも、福品となる米俵をわらで編むなど、祭りに関わり続けています。

### 税の納期

固定資産税・都市計画税第4期  
国民健康保険税(第8期)  
介護保険料普通徴収(第8期)  
納期限 2月28日(火)  
税金・保険料は納期限までに納めましょう。

### 母子・寡婦福祉資金の貸し付け

平成18年度に、高校や大学などへ入学予定の子どものいる母子家庭などに、就学支度資金や修学資金などを貸し付けます。

対象 母子家庭の児童、父母のいない児童、寡婦の子  
ほかの団体から同種の貸し付けを受けていない場合に限りです。

申し込み・問い合わせ 15日(水)までに申請書類(子育て支援課、各支所の住民生活課に用意)を子育て支援課(☎0848⑥76045 0848⑥2130)または各支所の住民生活課へ

### 市民憲章

わたしたちは、海・山・空、夢ひらくまち三原をめざして、この憲章を定めます。

- 一 豊かな自然をいかし、美しいまちにしよう
- 一 歴史を文化大切にし、人をはぐくむまちにしよう
- 一 みんなで助け合い、心ふれあふまちにしよう
- 一 心もからだも健康で、明るいまちにしよう
- 一 楽しく働き、活力あふまちにしよう

### 三原市の人口

(12月31日現在)

世帯数	42,845世帯(+262)
人口	105,584人(-401)
男	50,588人(-121)
女	54,996人(-280)

( )内は前年同月、合併前の総数との比較

### あとがき

先日、初詣に行くのに、電話がかかっていたときのこと。「それじゃあ、すみませんが、あすはおまもりおじさんしてください」と言われ、「えっ?」と絶句。しばらく考えて、お守りおじさんの着ぐるみ? 変装? みんなの前で何かするの? か? と、頭は一気に混乱状態。落ち着いて聞き返すと、相手はなぜか大笑。それもそのはず、「お守りおじさん」ではなく、「お守りを持参」だった。言葉の難しさをあらためて知る会話になりました(泣)。今月は、いよいよ春を呼び込む神明市が始まります。三原だるまに玉島も豊富ですよ。買い求めるときに迷う楽しみも味わってみてください。久井町では、勇壮なはだか祭がありますね。こちらもお楽しみですよ。でも、上手に取材できるのか、心配だ。横は「やるんですよ」と言わんばうりの顔! がんばります! (つとむ)

